

2018年10月19日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

大王製紙株式会社が国内製紙・日用品会社として初めて発行する グリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 荒木 三郎、以下当社)は、このたび、大王製紙株式会社(以下、大王製紙)が、発行するグリーンボンド⁽¹⁾(7年債150億円および10年債50億円)(以下、本件グリーンボンド)の引受けにおいて、事務主幹事およびGreen Bond Structuring Agent⁽²⁾を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

本件は国内製紙業界・日用品業界で初めて発行されるグリーンボンドです。

大王製紙グループでは、「世界中の人々へやさしい未来をつむぐ」を経営理念として定め、かかる経営理念の実現に向け「ものづくりへのこだわり」「地域社会とのきずな」「安全で働きがいのある企業風土」「地球環境への貢献」の4つの柱に重点を置き、グループ一丸となって取り組んでいます。特に「地球環境への貢献」については、古紙の高度利用・バイオマスエネルギーの有効利用・省エネルギーの推進等、環境負荷低減に継続して取り組んでおり、地球環境と調和した事業活動を通じて、持続可能な循環型社会の形成に貢献することを目標としています。

今般発行するグリーンボンドでは、これらの経営理念・目標等に照らし、「難処理古紙⁽³⁾の有効活用に関する設備」および「パルプ製造工程で発生する黒液⁽⁴⁾を燃料とするバイオマスボイラーによる発電設備」をグリーンプロジェクトとして、その調達資金が充当される予定です。

本件グリーンボンドは、適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として、世界的なESG評価会社であるDNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社からセカンドパーティオピニオンを取得しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界のESG⁽⁵⁾投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。当社は引き続き、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債 券 名	：大王製紙株式会社第 21 回無担保社債(社債間限定同順位特約付) (大王製紙グリーンボンド)	大王製紙株式会社第 22 回無担保社債(社債間限定同順位特約付) (大王製紙グリーンボンド)
取 得 格 付	：BBB+(R&I)	BBB+(R&I)
年 限	：7 年(2025 年 10 月 24 日償還)	10 年(2028 年 10 月 25 日償還)
発 行 額	：150 億円	50 億円
利 率	：0.605%/年	0.864%/年
払 込 期 日	：2018 年 10 月 25 日	
主 幹 事	：三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、大和証券株式会社	
Green Bond Structuring Agent	：三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社	

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。本件グリーンボンドは、国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者機関による評価を取得している(第三者機関:DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社)。
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドパーティオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。
- (3) 難処理古紙とは、未選別でビニール等が付属する古紙の中で、これまで再利用することが困難であったものを指し、大王製紙が独自に定義づけしているもの。
- (4) 木材チップをパルプ化する工程で発生する廃液(木の樹脂由来の成分)を濃縮したバイオマス燃料。
- (5) 環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。

以上